

環境相に穏健派のブリック氏 仏国で新内閣が発足

仏国で第二十四代大統領に就任したF・オランド氏は、十六日、J・M・エロー首相の提案に基づき、新政府の閣僚を任命した。



モスコビシ経済相 ブリック環境相

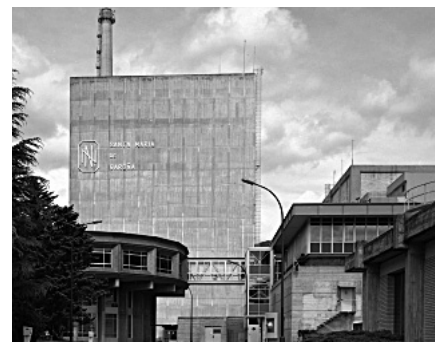
選に出馬した当初から同氏の選挙対策責任者を務めており、七五%の原子力発電シェアを二〇二五年までに五〇%まで削減するとのエネルギー転換戦略を支持している。また、五年以内に古いフレンチハイム原発を閉鎖する一方、国内初の欧州加圧水型炉(EPR)として建設中のフラマンビル3号機については完成させるとの発言。電力需要の管理、および再生可能エネルギーの投資ファンドを通じて同産業のクラスターを創設することにより、新たな雇用を生み出すとともに、速やかにエネルギー源の移行を図る考えだ。

選に出馬した当初から同氏の選挙対策責任者を務めており、七五%の原子力発電シェアを二〇二五年までに五〇%まで削減するとのエネルギー転換戦略を支持している。また、五年以内に古いフレンチハイム原発を閉鎖する一方、国内初の欧州加圧水型炉(EPR)として建設中のフラマンビル3号機については完成させるとの発言。電力需要の管理、および再生可能エネルギーの投資ファンドを通じて同産業のクラスターを創設することにより、新たな雇用を生み出すとともに、速やかにエネルギー源の移行を図る考えだ。

運転期間延長の可能性 スペインのガローニヤ原発

スペイン原子力産業協会(FORE)は十一日、来年七月に閉鎖予定のサンタマリア・デ・ガローニヤ原子力発電所(BWR、四十六・六万kW)について、事業者であるニウクレノール社が「閉鎖指令の一部取り消しに向けて政府が動き出した」と公言していること

に限り運転期間の延長を承認。二年二月には、原子力発電所の運転期間を最大四十年とする規定の撤廃を議会が採決しており、閉鎖予定日を一年後に控えた今年始めになると、政府は同原発の運転期間を延長する可能性について再びCSNに諮問。CSNは二月に「三年以降の運転を阻む要因は見当たらない」と結論付ける意見書を産業界に提出。CSNは「二〇一三年までの四年間



に限り運転期間の延長を承認。二年二月には、原子力発電所の運転期間を最大四十年とする規定の撤廃を議会が採決しており、閉鎖予定日を一年後に控えた今年始めになると、政府は同原発の運転期間を延長する可能性について再びCSNに諮問。CSNは二月に「三年以降の運転を阻む要因は見当たらない」と結論付ける意見書を産業界に提出。CSNは「二〇一三年までの四年間

メルケル首相が 環境相を解任

ドイツのA・メルケル首相は十六日、同国で原子炉規制責任者の役割を

担っていた連邦環境・原子炉安全省(BMU)のN・レトゲン大臣を解任すると発表した。後任については、同首相の側近の一人として、同大臣の去就に

担っていた連邦環境・原子炉安全省(BMU)のN・レトゲン大臣を解任すると発表した。後任については、同首相の側近の一人として、同大臣の去就に

豪州で三菱とウ ラン探査計画

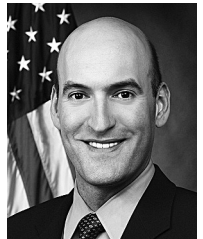
三菱商事と共同でオーストラリアのウラン探査プロジェクトを実施することになったと発表した。

三菱商事と共同でオーストラリアのウラン探査プロジェクトを実施することになったと発表した。

6月に国際原子 力フォーラム

第二回国際研究・実践フォーラム「総合エンジニアリング施設のライフサイクル・マネジメント、競争力のある建設技術の開発」(Life Cycle Management of Complex Engineering Facilities, Development of Competitive Construction Technologies)が六月十四日と十五日に、モスクワから四百km(特急列車で約三時間)のシブコヴォド市で開催される。

第二回国際研究・実践フォーラム「総合エンジニアリング施設のライフサイクル・マネジメント、競争力のある建設技術の開発」(Life Cycle Management of Complex Engineering Facilities, Development of Competitive Construction Technologies)が六月十四日と十五日に、モスクワから四百km(特急列車で約三時間)のシブコヴォド市で開催される。



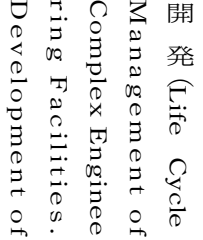
米原子力規制委員会(NRC)のG・ヤッコ委員長(写真)は二十一日、後任が議会上院の承認を得次第、辞任するとの意向を表明した。議会関係者から「尋常でない」と評価された同委員長の管理スタイルは議会の聴聞会を始めとする様々な場面で取り沙汰されてお

められている。NRCにおける同委員長のリーダーシップが疑問視された端的な例は、同委員長を除くNRCの委員四名が昨年十月、連名でW・デリー大統領補佐官に宛てた書簡だ。委員達はその中で、同委員長の「問題の多い気まぐれな行動がNRC内の職場環境を寒々しくし、重大な被害を及ぼしている」と指摘。具体的には、①上級スタッフを脅すなど過度の恐怖感を与えた②原子炉安全諮問委員会を恫喝して福島事故分析の一部の審査作業を阻もうと

ヤッコ委員長が辞意表明 NRC内での指導力に批判噴出

マ大統領が民主党政権を築き直した直後、同大統領の指名により委員長に就任したヤッコ氏は、二〇〇五年から八年近くNRC委員として務めてきたが、三年前にB・オバマ

マ大統領が民主党政権を築き直した直後、同大統領の指名により委員長に就任したヤッコ氏は、二〇〇五年から八年近くNRC委員として務めてきたが、三年前にB・オバマ



マ大統領が民主党政権を築き直した直後、同大統領の指名により委員長に就任したヤッコ氏は、二〇〇五年から八年近くNRC委員として務めてきたが、三年前にB・オバマ

platts
Nucleonics Week
「ニュークレオニクス・ウィーク」5月17日号
日本語版ヘッドライン

- (米国) 原子力税控除が批判に晒される可能性も
- (欧州) ENEC、原子力発電の安全性、役割を議論
- (米国) 上院、輸出入銀行設立免許の更新を可決
- (米国) サマー発電所2基増設のコストが上昇
- (日本) 東電次期会長：立て直しには原子力が必要
- (スイス) 政府：原子炉運転期間、法的制限せず
- (リトアニア) ヴィサギナス発電所詳細を上げ

「ニュークレオニクス・ウィーク」日本語版購読等のお問い合わせは、原産協会情報コミュニケーション部まで (TEL:03-6812-7103, FAX: 03-6812-7110, e-mail: kimuro@iaif.or.jp)